

イトヨ便り

【発行】大槌町地域支援員配置事業
〒028-1115 岩手県上閉伊郡大槌町上町1-6
TEL : 0193-41-2780
E-Mail : otsch.info@gmail.com

大槌第6,7 仮設団地

芸術の秋に 仮設住民文化祭

多種多様な手作り品の数々!

◀(上)「すばらしいね」と称賛の声
(左下)着物をリメイクした洋服
(右下)「大物釣るぞー!!」



11月3日文化の日に、大槌第7仮設集会所にて、大槌第6、7仮設の文化祭が催されました。
ここの仮設は手芸が盛んです。手作り熱が高じて「ひまわりの会」という住民主体の手作り手芸サークルもできました。今回はこのサ

ークルが主催となり、自治会チャレンジを利用した文化祭を開催することが出来ました。
開催が決まってから、住民へチラシを配布しイベントの告知と作品の募集を始めました。最初はなかなか作品が集まらず心配しまし

たが、前日には他の仮設の方からの出展もあり、35名のすばらしい作品を展示することができました。会場の飾りつけにも凝り、スキヤ柿の実、色づき始めたかえでの枝などもあしらい、玄関には、かかしでお客様をお迎えするよう趣向を凝らしました。
当日は8時半から支援員の協力のもと、肉うどんの準備をしながら、10時の開催までお客様の到着を待ちました。

時間前からぼつぼつとお客様が見え、「こんなの作ってみたいね」など感想を言いながら飾られた作品をじっくり見て回ります。アク

視覚も味覚も大満足!

肉うどんもおいしいと大好評。「ひまわりの会」代表の小林さんは「協力してくれた」みんなに感謝感「激」と話してくれました。
会の他のメンバーは「良い刺激を受けた。いろいろ作



洋服など多種多様な作品の数々。紙で作った魚を釣り上げる大会も同時開催され、お昼前には集会所は人でいっぱいになりました。
てくれました。今回はどんな催しをやってくれるのか、とても楽しみです。

「希望の樹」が育つことを願って

あの人に
インタビュー

カリタスジャパン
生利望美 (なまり のぞみ) さん



仮設住宅にお住いの方にはもうお馴染みの顔ですね。昨年の12月に大槌ベースキャンプ開設。それ以降草刈や流し素麺、足湯などのイベント実施。熱心に仮設を回っているスタッフの生利さんを訪ねました。
生利さんはいつからカリタスさんに参加したんですか?
3月に山口県萩市から来ました。萩市は海があって街が山が流れてと大槌に似た地形のとても良いところなんです。だから親しみが持てて。
震災当日は萩にいました。向うは全然揺れなかったんです。テレビの



(上) お祭りでは手踊りに参加しましたよ～。
(下) 被災地に「希望の樹」が育つことを願い描かれた壁画

上空からの映像で、どこの町かわからないけど波が来てるすぐそばを車が走ってて…何これーって感じで見ました。で行かなきゃと思って…。
最初に調べてみて一番ひどかったのが大槌。それで大槌でボランティアをやろうと思いついて1月に初めて来ました。大槌に来てすごい衝撃を受けて…。何かできないかなあと考えてたら、カリタスの古木神父にうちに来ないかと声をかけてもらい、カフェの店員の仕事を辞めて、3月に再度来ました。
炊き出しが人気ですが、メニューはどなたが考えてますか?
古木神父です。出来るだけこちらにないものを、美味しいものを、美味しく食べてもらいたいと思います。皿うどんや素麺、角煮まんなどが好

評でした。
イベントなどで仮設や町内を回ってみたいかがですか?
もう一年半以上経ちますが、大槌ではどこいっても震災の話で、他の温度差を感じますね。私が大槌に来るから地元でも気にかけて貰えるけど…。風化していくのが、恐ろしいっていうか…。
最初は張り切って、がれきを片付けて回ったりして喜んで貰ってたけど、もう張り切って出来る感じじゃないじゃないですか。がれきは片付いたし…。
今は人の心の中の深いところの問題が、良くも悪くも出て来ると思えます。むなしさとか…。今まで抑えていたものが出て来てる。回ってみると感じます。私たちはただマインスの気持ちを受け止める相手であればいいかなあと。
お茶っこや足湯などで、一瞬でも楽しいとか幸せとか思える時間を少しでも増やせたら、その先変わって行くのかなあと希望を持って回ってます。

大槌町地域支援員配置事業は、岩手県緊急雇用対策基金を活用し、北上市と大槌町が協働で実施し、受託者の(株) ジャパンクリエイイトとともに、地域の皆様のご協力のもと運営しています。